

一般質問通告書

平成 25 年 2 月 13 日 提 出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様	議席番号 13	氏 名 渋谷登美子 印	受付番号
-------------------	------------	----------------	------

下記のとおり質問したいので通告します。

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
1 生活保護基準引き下げと子どもの貧困への対応 (答弁書不要)	<p>生活保護基準の引き下げが本年8月より実施される予定である。24年12月段階では、要保護・準要保護の子ども総数は、151人で、小中学生の11%であった。就学援助を受けられない貧困の子どもが増加が想定される。</p> <p>(1)26年度以降、保護基準引き下げによる影響 ア、保育園保育料・就学援助・幼稚園保育料、による子ども、町財政への影響を聞く イ、住民税非課税世帯への影響・町財政の影響を聞く ウ、要保護準要保護で就学援助を受けられなくなる可能性のある子ども数と対応は</p> <p>(2) 子ども医療費窓口払い廃止の必要性 保護基準に該当しない低所得者層の増加が見込まれ、子ども医療費については窓口払いをせざるをえない世帯が増える。低所得者の子どもを含め、医療費支出は予定外支出である。貧困は自己責任、資金準備をし、子どもを育てるべきという考え方は改めるべきであり、子ども医療費窓口払い廃止について再考を求める。</p> <p>(3)貧困の子どもへの学習支援のあり方 ア、国の自立支援に要保護の高校進学支援があり、活用している自治体もある。 子どもの学習費調査では、中学では学習塾</p>	<p>教育長</p> <p>町長</p> <p>教育長</p>